

一人暮らし支援の賄い付き賃貸 マンション

NPO法人(特定非営利活動法人)「オアシスらんど」は、川崎市麻生区に賃貸マンション「オアシスらんど柿生」を9月に完成予定だ。ここは同法人が運営する4棟目のマンションで、いずれも一人暮らしの中高年者を対象に、朝夕の食事を提供するサービスを持つ。

同法人の高木伸一理事長は「かねてから孤独な高齢者の方が多いことを心配していまし

た。そこで公務員を退職後、一人住まいの高齢者の方が安心して住め、おいしい食事をとることができ、廉価の賃貸住宅を作りたいと考えました」と説明する。

「オアシスらんど柿生」は小田急多摩線五月台駅から徒歩8分。8・3帖(13・4平方メートル)の1R・56室他4室からなる。栄養士の管理による献立が棟内のキ

ッチンで調理され、提供される。管理人も24時間常駐だ。

また、徒歩5分圏に約1000坪の農場「オアシスファーム」が併設される。ここで栽培された野菜や果樹が、食事に供される。希望する入居者は、農作業を手伝うこともできる。余剰作物は販売され、その一部は、手伝った人に分配される。

「オアシスファーム」は、入居者と近隣の農家やボランティアの協力で運営します。入居者に、作業を通して生きがいを感じてほしい。新しい交流も生まれるでしょう」と高木さん。今後は「他のNPOとも協力して、同様の施設を増やしたい」と意欲を見せている。1Rタイプの家賃は、管理費・朝夕の食事代・水道光熱費込みで月額12万1000円。他に入居時に契約一時金30万円がいる。

